

山口市公共交通会議

地域公共交通確保維持改善事業の事業評価等について（書面協議）結果報告

書面により協議の調整を諮った案件について、報告します。

協議1 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

<回答状況>

委員数 18人（会長を除く）

回答数 17人

<審議結果>

有効回答数 17人

「可」と回答した委員数 17人

「否」と回答した委員数 0人

よって、原案のとおり承認されました。

協議2 岐阜乗合自動車㈱作成「土日祝日限定ワンデーフリー乗車券」対象路線に本市自主運行バス全路線を含めることについて

<回答状況>

委員数 18人（会長を除く）

回答数 17人

<審議結果>

有効回答数 17人

「可」と回答した委員数 17人

「否」と回答した委員数 0人

よって、原案のとおり承認されました。

その他、本会の活動等についての意見

○協議1に対する意見

* 中部様式について

・「4. 具体的取組みに対する評価」のうち、岐北線・岐阜板取線について、利用促進の取組み等、利用者増についての改善策について併記してはどうか。

→7 頁、「4. 具体的取組みに対する評価」のうち、岐北線・岐阜板取線について、利用促進を推進することについて、追記しました。

・対応方針について、網形成計画を策定してどのように対応していくのか具体的に記載してはどうか。

→6 頁、「3. 目標達成に向けた公共交通に関する具体的な取り組み内容」において、具体的な記載をしており、対応方針において再度記載すると同じ説明の繰り返しとなるため、追記しません。

・各協議の進展状況について、定期的に確認する方法があるとよいと考える。

→8 頁、「5. 自己評価から得られた課題と対応方針」の対応方針の項目において、

進展状況を公共交通会議等で定期的に確認すると追記しました。

*国様式1について

- ・⑥事業の今後の改善点について、路線ごとに記入してください。
→路線ごとに記入しました。
- ・新しく開設するバスターミナルを中心としていることを記載してはどうか。
→新しく開設することが分かりづらい文章であったため、平成31年度開設予定であるバスターミナルと文章を修正しました。

○協議2に対する意見

*土日祝日限定ワンデーフリー乗車券について

- ・全市自治会に啓発し、バスの利用を促してはどうか。
→3月号広報において、周知する予定です。

○本会の活動等に対する意見

*バスヘルパーの活動について

- ・評判がよいと聞いているためヘルパーを増やして週2回実施するのはどうか。

*高齢者の免許返納について

- ・高齢者の事故の増加により、免許の自主返納者が多くなると考えられ、高齢者のバスの利用促進を実施する必要がある。そのため、交通不便地区へのバス運行の検討や福祉と連携した公共交通を構築していく必要があるのではないかと。
- ・公共交通の利便性が上がることで高齢運転者の自主返納にもつながると考えられるため、今後も実りのある取組みをしていく必要がある。

*バスターミナルのハブ化

- ・岐阜乗合自動車（株）の営業所などを利用し他市への行き来を可能にすることはできないか。
- ・交通制約者が目的地へ行くには一度岐阜市を経由してからではないと他市へは行けず、その逆に他市の片も直接山県市に行くことはできない。
山県⇄瑞穂 山県⇄各務原 山県⇄美濃 山県⇄関
などの路線が週1でもあれば他市から山県へ来る人も多くなり、経済の活性化になるのではないかと。
- ・将来的にICを利用し、名古屋や三重方面の直行バスができないか。
(市民生活エリアの山県⇄岐阜の1路線では先細りが心配であるため)
- ・路線再編事業の内、新規路線運行について、「四ツ辻バス停」の位置をどうしていくのか。(現在のバス停は交差点付近にあるため)

→「本会の活動等に対する意見」については、今後の交通施策の参考にさせていただきます。